

発行人：飯山市長 石田正人
 編集：飯山市役所総務部
 庶務課秘書広報係
 〒389-2292 長野県飯山市
 大字飯山 1110-1
 電話：0269-62-3111
 F A X：0269-62-5990
 インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp>
 E-mail：kikaku@city.iiyama.nagano.jp

もくじ

第26回いいやま菜の花まつり.....2ページ

市職員(化学・保健師)の募集.....4

「いいやま灯籠まつり」ダンス参加チーム募集.....5

市民一人ひとりの取り組みでごみ減量.....6

妊婦健診受診票の交付枚数が増えました.....9

米持邦雄青少年育成基金助成団体募集.....10

飯山市ロードレース大会参加者募集.....10

第26回いいやま菜の花まつり

5月3日から5日までの3日間、瑞穂菜の花公園で「第26回いいやま菜の花まつり」が行われました。

暖冬で早い開花も心配されましたが、菜の花を育ててきた地元「菜の花さかせるかい」の皆さんの連日の作業のおかげで黄色い菜の花が13ヘクタールの菜の花公園を覆い、3日間のイベント期間中に全国から1万8000人が来場。好天の中、飯山の春を楽しみました。



④いいやま菜の花まつりの開始を告げる、東小学校児童によるパレード。



△毎年人気の「菜の花さかせるかい」の皆さんによる餅つき大会。



△大勢の来場者が合唱や演奏に耳を傾けた「第8回 朧月夜音楽祭」。



⑤昨年に引き続き、運航された「菜の花渡し舟」。



⑥熱気球の上、上空30メートルからの飯山の風景。



△こちらも観光客で賑わった福島「阿弥陀堂」。近くの休憩小屋「さんべ」では地元の皆さんによる手打ちそばも。



△大型連休に菜の花が満開となった北竜湖。ボート、カヌー、釣り等、思い思いのレジャーを楽しむ姿が見られました。

創作人形の展示と市民交流の拠点施設に

第6回人形館建設委員会

人形館建設に向け検討を行っている人形館建設委員会の第6回の会議が、4月28日に市役所で行われました。

この日の会議では、完成した人形館の実設計書について報告がありました。展示施設や交流室の内装は漆喰風の塗壁、交流空間はかつての土間を連想させるタタキ仕上げに設計するなど、訪れた方々にふるさと飯山を体感してもらう工夫

が取り入れられています。また、外観は降雪を十分考慮しながら人形のイメージに合った空間にするともに、四季折々の花の植栽スペースを確保。訪れた方々に癒しの空間が提供できるように配慮されています。

委員からは、障害者に配慮した導線の確保や、市外から訪れる方への誘導策、古材の活用等についての要望・質問があり、今後、出された意見を反映していく

予定です。

今後の計画

施設の建設については、6月中旬に工事の着工、来年3月の完成を予定しています。

施設の開館に向けて、今後、広く情報を発信するため、工事とあわせPR活動を推進していきたいと考えています。

お問い合わせ

教育委員会 学習支援課
 (飯山市公民館内)
 ☎33342



△人形館の完成予想図。人形のイメージに合い、ふるさと飯山を体感してもらうための工夫が室内、外観に施されています。

山に入る機会が増えるこの時期

クマの出没に注意を

春になり、行楽や山菜採り等で山に入る方が多くなる時期となりました。



この時期はツキノワグマの冬眠が明け活動が活発になる季節で、山の中での遭遇の危険性が高まります。山林に出かける際は、ラジオ・鈴等を携帯するなどして自分の存在をクマに知らせるための自己防衛をしてください。

また、木々が乾燥していますので、たばこの投げ捨て等、火の不始末は絶対にしないようにしてください。

クマの目撃等の情報は市役所農林課耕地林務係(☎62-3111 内線265・266)までご連絡ください。

市長の

悠久のふるさとづくり ⑩

飯山市長 石田正人



「ふるさとの原風景」として多くの皆さんに評価をいただいている飯山の春の風景。しかし今年も例年より早い雪消えで、5月の連休には菜の花が終わってしまうのではと心配されました。

瑞穂の菜の花公園では、菜の花さかせるかいの皆さん、ボランティアの皆さんが、芽を摘んだり肥料をまいたりして、昨年からずっと管理してきた菜の花をイベント期間中に満開にするため努力されました。その結果、「天は努力したことに報いる」との言葉どおり、5月3日から5日の菜の花まつりには菜の花が一面に咲き誇りました。訪れたお客さんからは「きれい、すばらしい」との声や、外国人の方の「ビューティフル」など、多くの感嘆の声が聞かれました。

菜の花公園から千曲川を見下ろすと、対岸の常盤の菜の花畑や残雪を載せた北信五岳の輝く美しい風景。これこそ人の心を癒し、また新しく元気を育んでくれる風景と改めて感じました。千曲川の兩岸を結ぶ「菜の花渡し舟」も順調に就航。今年も新たに「熱気球」で空からの風景を楽しむことのできる催しも加わり、昨年に引き続き大勢の皆さんにおいでいただきました。その他、戸狩のふれあいアート展、菜の花ゲートボール大会、斑尾高原のトレイル散策等、市内各地で多くの春のイベントが行われ、市外から訪れたお客様もきつと満足していただき、「来年も飯山に来よう」と思っていただけではないでしょうか。

このような飯山市の活性化は、1つの力だけでできるものではなく、市民の皆さんの協働の力があってこそ感謝申し上げます。また、5年後の新幹線開通時には日本中、世界中から大勢のお客様にきていただけるよう、みんなが美しいこの風景を次世代につないでいきましょう。